

<教育利用> ⑤クラス運営における中長期的なグループワークの計画

[取組の内容]

クラスのHR(学活)の活動において、中長期的なグループワークの実施計画作成に生成AI(Bing)を使用した。

生成AIに以下入力

【高校生が10年後に立派な人格者になるためにできるグループワークの題材を具体的に3つ考えて。
条件は「30分程度のワーク」「教室で実施」「クラスは40人学級」「実施頻度は月に1回程度」】

高校生が10年後に立派な人格者になるためには、自己管理、他者への思いやり、社会貢献が必要です¹。これらの要素を取り入れたグループワークの題材を以下に3つ挙げます

1. 自己管理
高校生に自分自身を知り、自分の強みと弱みを理解することを促すグループワークが考えられます。例えば、自分自身についてのアンケートを作成し、クラスメイトと共有することで、自分自身を客観的に見ることができます。また、自分自身に厳しく、自分の目標に向かって努力することを促すグループワークも有効です。
2. 他者への思いやり
他者に対して思いやりを持ち、共感することを促すグループワークが考えられます。例えば、クラスメイトの良いところを紹介し合うワークショップを実施することで、クラスメイト同士のつながりを深めることができます。また、他者とのコミュニケーションを大切にし、相手の意見を尊重することを促すグループワークも有効です。
3. 社会貢献
社会に貢献することを促すグループワークが考えられます。例えば、地域のボランティア活動に参加することを促すグループワークを実施することで、社会貢献の大切さを学ぶことができます。また、環境に配慮した行動をすることを促すグループワークも有効です。

以上の3つのグループワークは、30分程度で実施可能であり、教室で実施することができます。
また、クラスが40人学級であっても、実施頻度を月に1回程度に設定することで、効果的に実施することができます¹。

【工夫点】

- ・より創造的な答えを求める。
- ・条件は「時間」「場所」「人数」「頻度」などより細かく指定する。

【結果】

- ・実施に際して結局は現場の教員のスキルは必要不可欠である。
- ・アイデアを提供してくれるツールという感覚。